

棟方版画紛失、県は美術品一斉点検へ

民進党衆院神奈川第4区総支部長
神奈川県議会議員 早稲田夕季

早稲田夕季

県が300万円で購入した後、県民ホールの指定管理者である同財団が保管し館長室に展示していました。

2014年の県立近代美

県議会定例会が開かれ、市街地再開発（大船駅笠間）において、ヤマダ電機の所属が決定。また民進党

今後は遅れている鎌倉側の東口再開発の推進にも、市と連携し取り組めます。

県議団では、政調会副会長を拜命しました。これから

3年間公表せず

被害届も出していませんでした。紛失の情報を得た担当者

も県民の皆様のために力を尽くして参ります。

神奈川県所有の棟方志功の版画作品「宇宙讃」が、カラーコピーのレプリカに

大船駅笠間口再開発

横浜市の大船駅第2地区

に万全な対策を求めました。

カラーコピーのレプリカにすり替わっていた問題について、5月16日の県民・ス



建設常任委員会

www.waseda-yuki.jp

早稲田 夕季

でも情報を発信中

☎0467・24・0573

ポーツ常任委員会で質疑が行われ、県と神奈川芸術文化財団の皆さんの対応が明らかになりました。

版画は、40年前に県民ホールの緞帳のデザイン画として制作を依頼したもの。県は所有する美術品等による調査を行うとしています。事実の真相究明はもちろんですが、県所蔵品の管理のあり方、組織の情報共有、責任の明確化など、再発防止に向けた取り組みを求めます。

「大船立体」工事を視察